

「ちくまがわ川ものがたり」の編集、冊子の刊行

土木・環境しなの技術支援センター

1 資料収集と編集方針

*想定する物語の分野は、次のようなテープを想定した。

例【川をつくった伝説】

【川に関する行事・祭り】

【災害の痕跡】

【各地の橋にまつわる言い伝え】

【近代産業を支えた風穴】

【川がつくる景観】

【川沿いに残る碑や水神】

【用水、利水、ダム】など

2 川ものがたり冊子の編集

調査で収集した資料を基に各自で、多くの人に読んでもらう、わかりやすく紹介するという視点でまとめ作業をおこない、3回の編集会議を実施した。

当初、本編とパンフレットの要約との2分冊にわけようと考えたが、多くの情報をどう伝えるかを検討し、ハンディタイプの大きさを気軽に読める冊子を目指し、発行部数も増やすこととした。その結果は、下記の目次にあるように6章で構成する「川ものがたり」とした。

なお、千曲川を「ちくまがわ」としたのは、冊子の範囲が長野県では「千曲川と犀川」の2つの大河山に分かれていること、千曲川の漢字の歴史を考える意味であえて「ひらがな表記」とした。

信州の大河 千曲川・犀川の流域をめぐるガイドブック

かわ ちくまがわ川ものがたり



令和2年3月

土木・環境しなの技術支援センター

第1章 地形・地質



複雑な地形・地質(長野県デジタル地質図 2015 パンフレットより)

第2章 伝承・行事



泉小太郎伝説は各地に伝わる(泉小太郎 松本市弘法山)

目次

はじめに—千曲川、犀川のことを知ろう	……6
本編	
I 地形・地質	……11
1 流域の地形と地質 (見てみたい地形と地質)	……12
II 伝承・行事	……23
1 流域に伝わる伝承・伝説	……24
2 流域の行事	……37
III 災害・治水	……51
1 災害の歴史	……52
2 伝えていきたい大災害	……54
3 治水の歩み	……62
4 土砂災害に挑む	……69
IV 水環境・景観	……73
1 千曲川・犀川の源流地域	……74
2 流域の景観(姨捨、三川合流、塩田平)	……76
3 水の恵み(拾ヶ堰、五郎兵衛用水)	……83
4 流域の水と取り巻く環境	……85
V 川をわたる	……87
1 流域の橋の歴史	……88
2 特徴ある橋	……93
VI 流域の営み	……103
1 ダムと発電	……104
2 川で運ぶ通船	……107
3 歴史を刻む風穴(ふうけつ)	……108
4 旅をつなぐ一里塚	……113
参考資料・文献	……116
索引、編著者一覧	

冊子は、流域の市町村、国や県の機関、県立図書館、県内の市立図書館等へ寄贈しました。

また、添付の新聞等に取り上げられたため、希望された方に数十部配布しました。

(現在余部はありませんので 追加の配布にはお答えできません。図書館での貸出をご利用願います。)

「ちくまがわ川ものがたり」

土木・環境しなの技術支援センターが発行

県内の土木、地質関係の学者、行政・民間研究者らでつくる「土木・環境しなの技術支援センター」(理事長・小西純一信州大名誉教授)は、多くの県民の生活に影響を及ぼす千曲川流域のガイドブック「ちくまがわ川ものがたり」を発行した。

(矢崎幹明)

昨年10月の台風19号(含めて流域面積は県全
で大きな水害が発生し) 体の半分以上、人口は
た千曲川は、北アルプ 210万県民の7割以
上を源流とする犀川を 上を占める。この川の

歴史や文化、営みを伝
えることで「恵みと災
害の両面を持つ川との
付き合いを考えてほし
い」と企画した。



千曲川のガイドブックを手にする小野さん

地形・地質、伝承・行
事、災害・治水など6章
で構成。地形は松本盆
地の扇状地群、犀川の
穿入(せんにゅう)蛇行
などの特徴を紹介。伝
説は支流を含む大町、
安曇野、松本市などの
犀川流域や上小地方の
千曲川流域に伝わる
「泉小太郎」、松本市の
女鳥羽川でキツネにだ
まされる男の話、女鳥
羽川の姉き狐」など。

過去の災害を年表で
示し、1742(寛保
2)年の「戌いぬ」の満
水から、昨年の台風19
号災害まで、分かりや
すく解説した。

同センターのメンバ
ー小野和行さん(72、安

曇野市堀金烏川)は「千
曲川流域での営みは、
自然や文化が多方面に
わたり絡み合っている
ことを多くの人に知っ
てほしい」と話す。

300部作り、流域
の市町村や大学、県・市

の図書館などに配布し
た。わずかに残部があ
る。問い合わせは事務
局で長野市の山浦さん
(☎090・7175・
5003)、メールは
ma3417@mx2.a
vis.ne.jp)へ。

川と人間の関わり知って

「ちくまがわ川ものがたり」 土木研究者らが冊子製作



土木技術者や研究者でつくる「土木・環境」は、このほど、冊子「ちくまがわ川ものがたり」を発売しました。野の技術支援をするほかに、県内の土木遺産を、その流域の地質や災害紹介するマップや土木

害の歴史、水をめぐる文化まで、幅広い事例をまとめたガイドブックです。同センターは建設分野の技術支援をするほか、県内の土木遺産を、その流域の地質や災害紹介するマップや土木

岸にある裾花凝灰岩の崖など、特徴のある地形ができた理由を解説。「伝承・行事」では、信濃町の「黒姫物語」、犀川流域の「泉小太郎伝説」などの伝説、穂高神社のお船祭りなどの伝統行事を紹介しています。「災害・治水」の章では、江戸時代の「成の満水」から昨年10月の台風19号水害までを振り返り、堤防や砂防など、どの治水工事を解説。全6章。解説文のほかカラー写真や図版、グラフを多く載せ、読みやすく工夫しています。300部作成し、行政機関や図書館などに配布。残部はわずかで、希望者に配つていきます。申し込みは、

メールに冊子希望の旨と住所、氏名を記して送信。 甲府事務局 0426-24-1111 yam a3417@mx2.avi s.ne.jp

千曲川の「橋カード」配布

県千曲建設事務所 管内の11の橋紹介



「橋カード」の一部

戻っていることも知ってほしい、とのメッセージも込めた「同事務所整備課」といいます。カードは、上流側の鼠橋（坂城町）から粟佐橋（千曲市）までの11の橋全てを網羅。表裏面に橋の名前と写真、裏面に橋の形式や完成年、長さなどのデータを記載しました。イラストは、平日は同事務所、土・日曜日と祝日は市アートまちかどで。同事務所は「千曲川

味を持つてもらい、観光客にもつなげることを狙いに企画。昨年10月の台風19号では増水で被害を受けた橋もありましたが、平常に

など配布。各限定1000枚。配布場所は同事務所ホームページで紹介しています。3枚集めた人には千曲市の画家・越ちひろさんがデザインしたオリジナルカードホルダーを、11枚全てを集めた人には「プレミアム橋カード」をプレゼントします。いずれも交換は、平日は同事務所、土・日曜日と祝日は市アートまちかどで。同事務所は「千曲川

左岸にはサイクリングロードもある。景色を楽しみながら集めてほしい」と話しています。 同事務所 027-3-5942